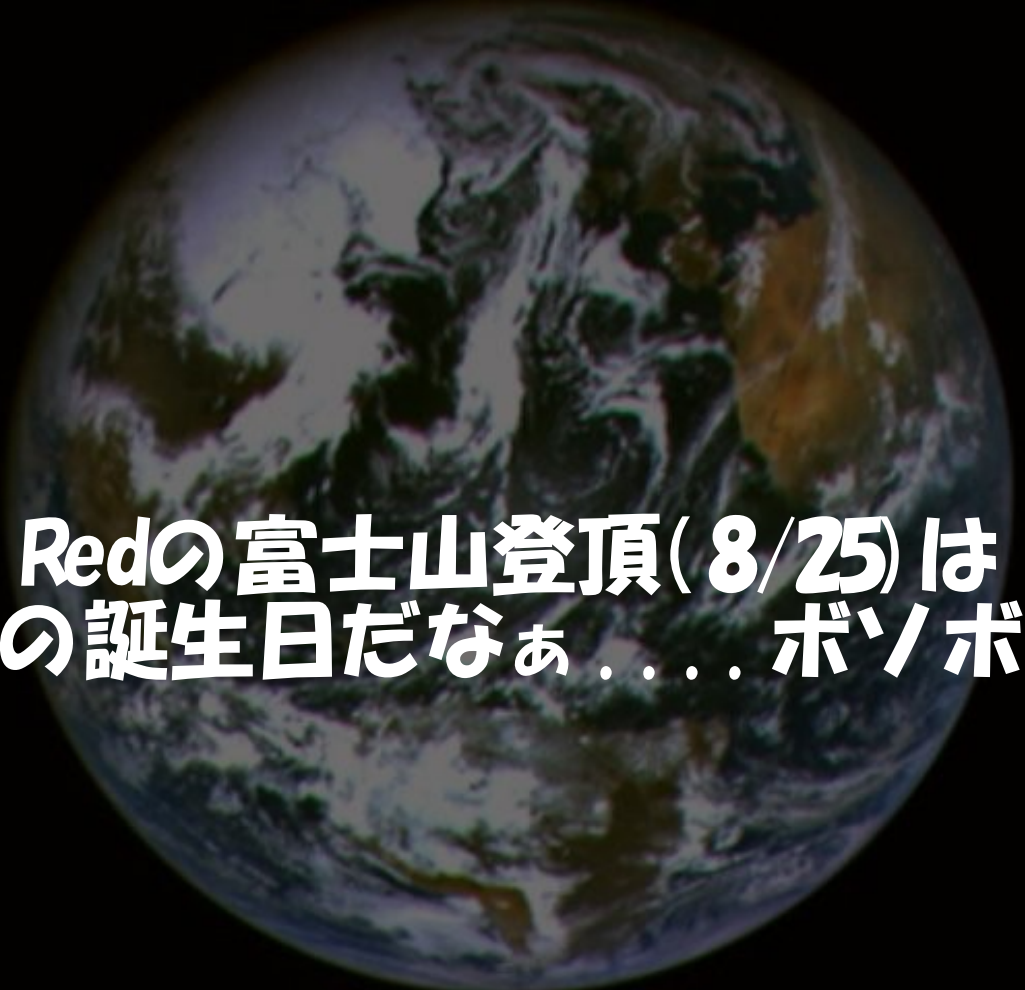


# XPと環境の 微妙な関係 夜LT版

～なぜXP祭りでゴミを持ち帰るのか？～

XPJUG 懸田 剛



**Redの富士山登頂(8/25)は  
俺の誕生日だなぁ.....ボソボソ**

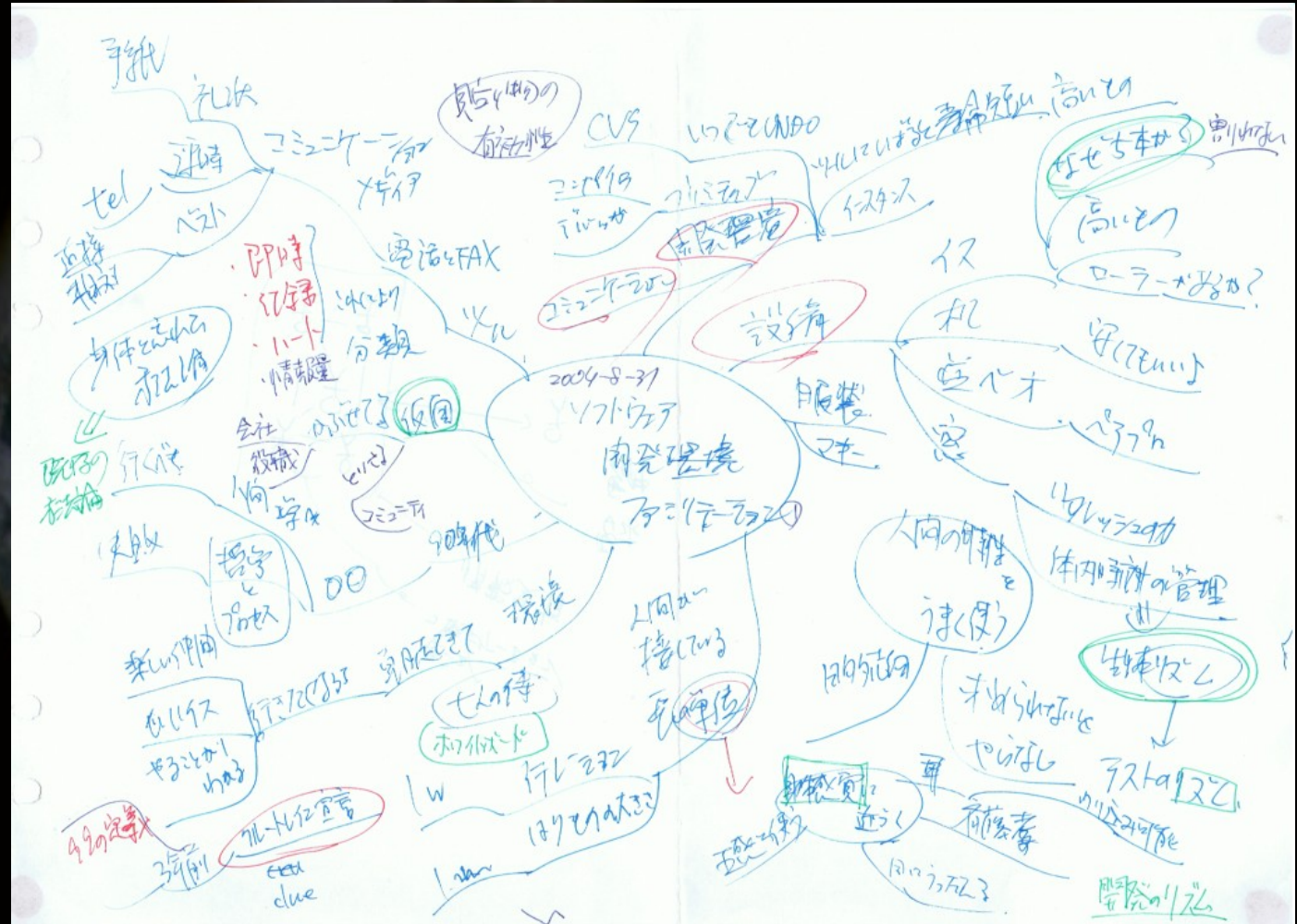
# おまけ:PFの誕生日その1

2004-08-31

出張帰りの新幹線にて平鍋さんと懸田でブレインストーミング。

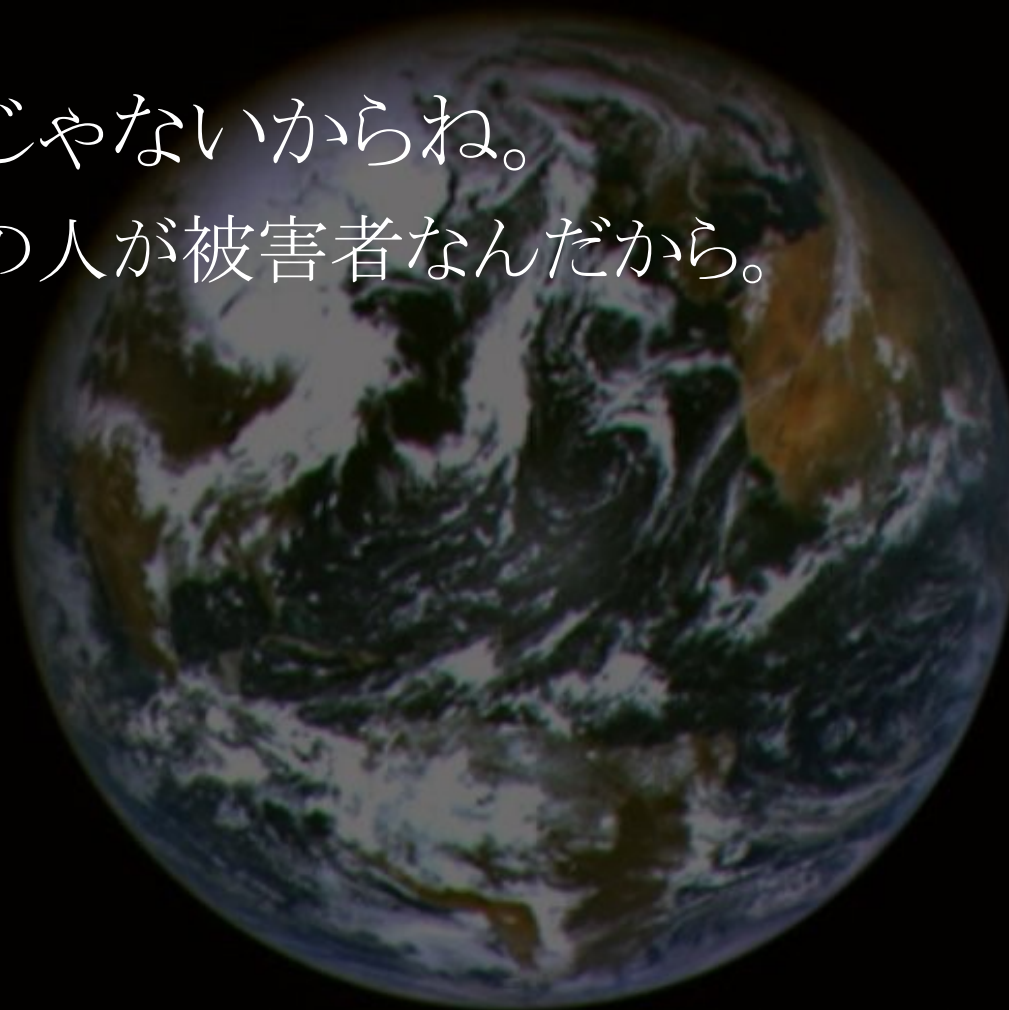
開発環境、ファシリティ、チームビルディングなどソフトウェア開発を促進するものを挙げていった。

この頃は「ソフトウェア開発ファシリテーション」と呼んでいた。



# 但し書き

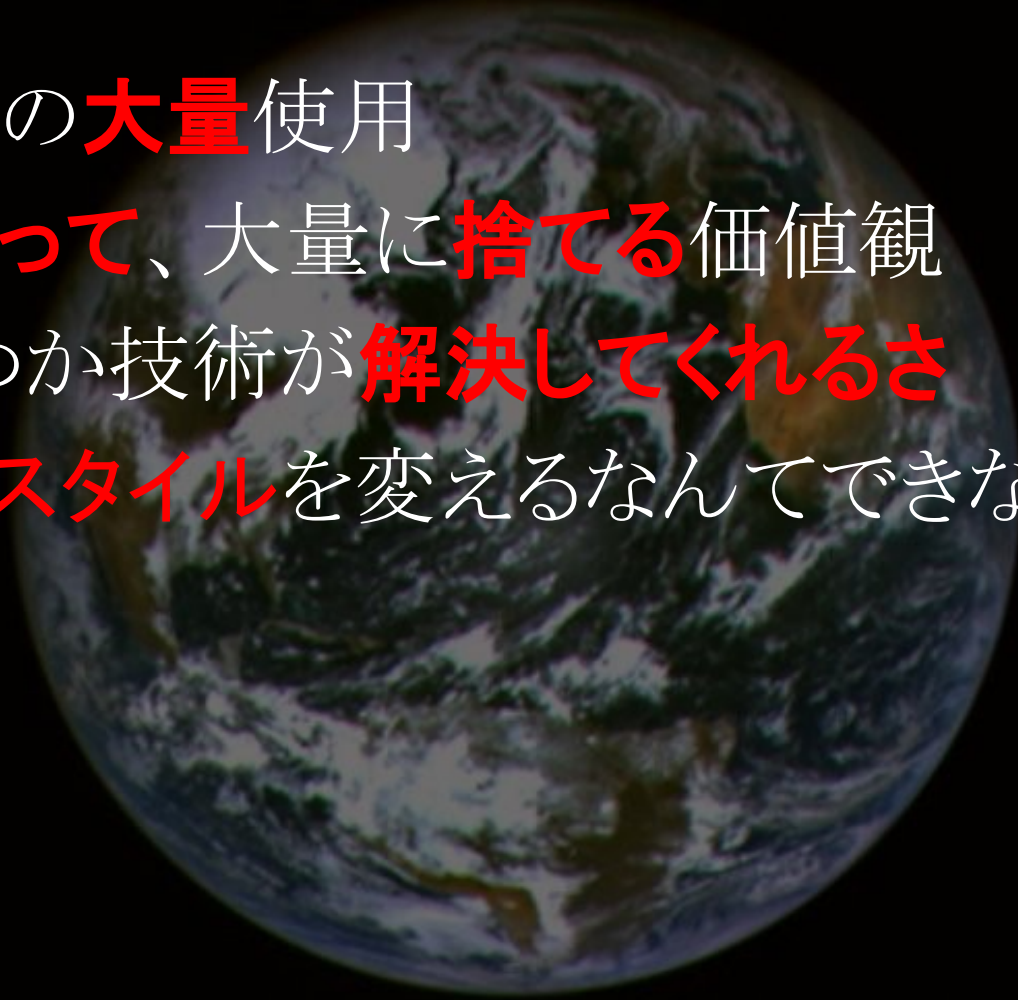
- 説教とかじゃないからね。
  - すべての人が被害者なんだから。





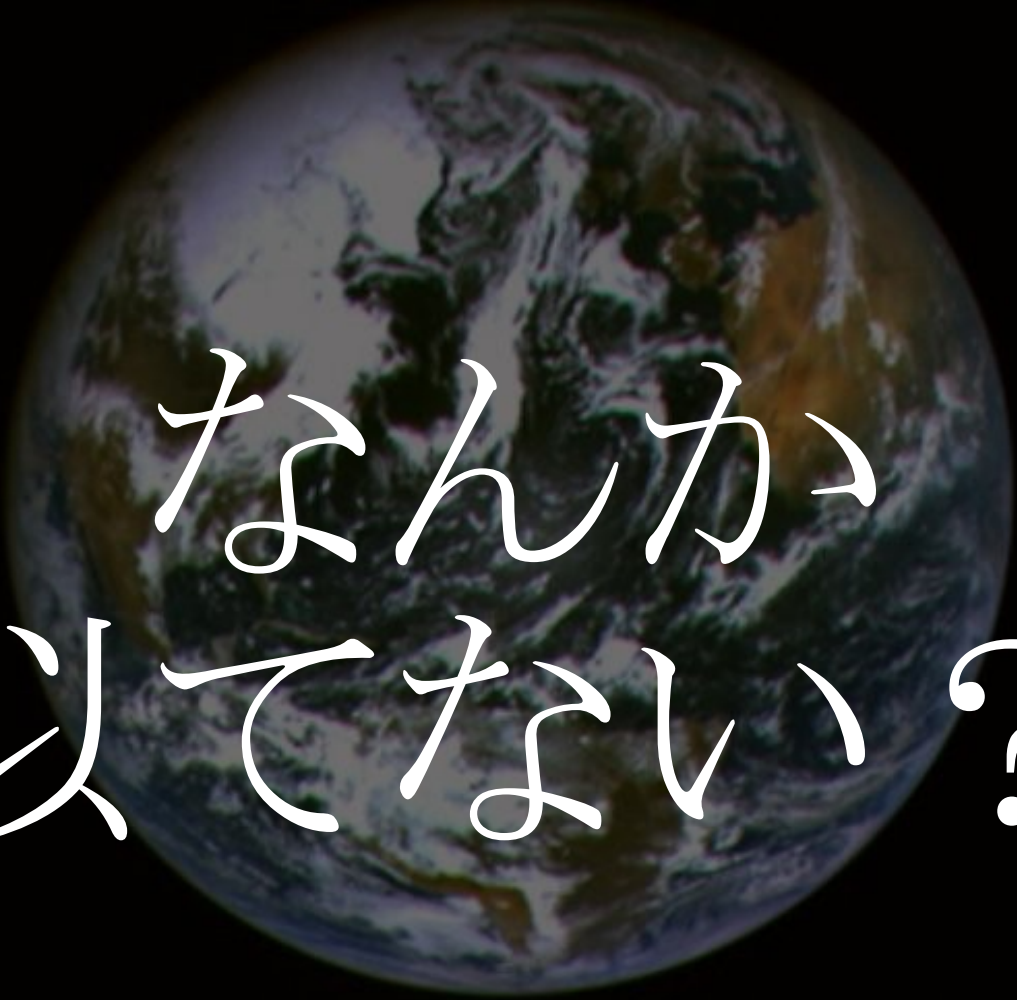
# 温暖化はなぜ進行しているのか？

- 化石燃料の**大量**使用
- 大量に**作って**、大量に**捨てる**価値観
- きつといつか技術が**解決してくれるさ**
- **今までのスタイル**を変えるなんてできないよ



# ソフトウェア開発現場の悪夢は なぜ進行しているのか？

- とりあえず人を**大量投入**すればいいじゃない
- 後で**使われるかわからない**けど、とりあえず**全部作**  
**れ**ばいいさ
- きっと素晴らしい技術やプロセスが  
いつか問題を**解決してくれる**さ
- **今までのスタイル**を変えるなんてできないよ



なんか  
似てない？

XPはソフトウェア開発における  
エコロジー活動である

- ✓ 技術やプロセスでは  
問題を解決してくれない
- ✓ 価値観の変化を伴う
- ✓ Social Change





# 両者を繋ぐ キーワード



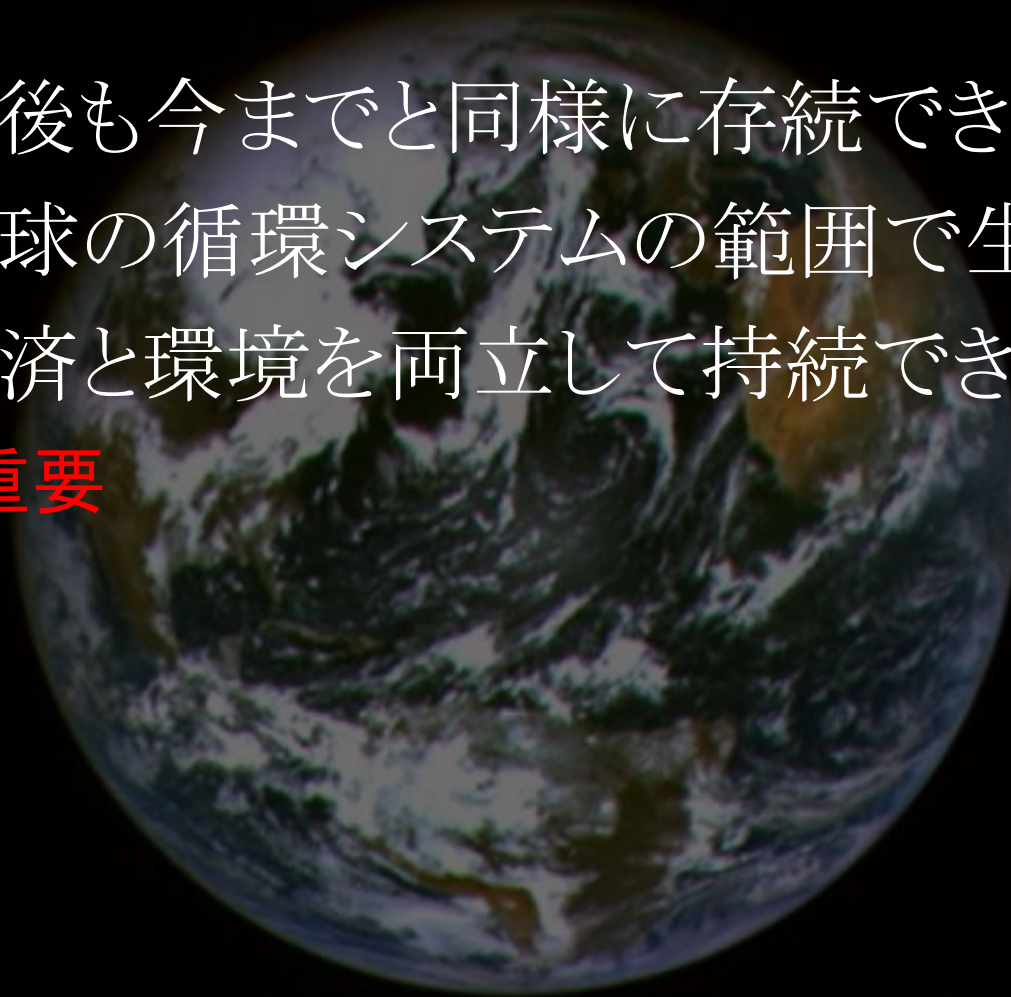
それは...



# Sustainability (持続可能性)

# 環境におけるSustainability

- 人間が今後も今までと同様に存続できる
- 人間が地球の循環システムの範囲で生活する
- 人間が経済と環境を両立して持続できる
  - **これが重要**





# XPにおけるSustainability

- プロジェクトがキャンセルされずに持続できる
- 顧客に価値を提供し続けられる
- 作成したソフトウェアが保守して持続できる
- 開発者が燃え尽きることなく開発を持続できる
- 継続的に改善を持続できる
- 組織に優秀な開発者が存在し続けられる



# Sustainability (持続可能性)

それはさておき

**他にも環境問題を勉強すると  
ソフトウェアにも繋がりそうな  
知識は多い**

# Small is beautiful

- ドイツの経済学者E.F.シュマツハー著
  - 1973年に出版された
- 副題「A Study of Economics as if People Mattered」
  - 人間中心の経済学
- 「Web 2.0 – Small is beautiful」37signalsのだれかが言ってたよね
- 「人間は小さいものである。だからこそ、小さいことはすばらしいのである。」
  - テーラリズムのような完全分業、大規模開発を批判
    - これらは人間性を失わせる
  - 人は背丈にあった技術を使うのが幸せであると主張



# 中間技術

## Intermediate Technology

- 人の背丈にあった技術で、人が仕事に対して高い意欲を持てるような技術のこと
- 主に第三世界の開発に対して適用されている
  - 高額な高性能な機械を購入して利用するのではない
  - 効率は落ちても、安価で人が手を使って覚えることができる技術を使った開発を進める
  - Intermediate Technology Development Groupという組織を作り活動していた
    - 現在はPracticeActionと呼ばれているらしい
- **工夫の余地があること**

# ソフトウェアにおける 中間技術は？

- TPS ?
- Agile ?
- Ruby ?
- 他には????



# 他にもいろいろあるよ

- **成長の限界**

- 1970年代のPoorなシステムで世界をモデル化しシミュレートし、世界の成長の限界を知らしめた書籍
- グラフが「++++++」とか「-----」とかテキスト(w

- **ナチュラルステップ**

- スウェーデンで広まっている持続可能性を実現するための問題解決フレームワーク。ビジョンを共有し、システム条件を満たしつつ、ゴールから逆算して方法を考える
- バックキャストイング
  - ゴールから逆算して道筋を考える

# システム思考

- 問題をシステムとして捉えて理解する

- 問題を解決させるのに一番有効な場所(レバレッジポイント)を特定する


- 「成長の限界」の世界モデルに使用されている

- ふりかえりに使えないかな？





以上



オチはないよ。  
ゴメンね。